

地理教材としての地形圖（二）

一、緒言

地理學を中學校に於て講ずるもの、感ずる困難の一は適當な學生に與へる實習材料の缺乏であつて、現在多くの地方學校では經費の關係から此の種の設備の充實は言ふべくして容易に行はれ難い状態に在る。

抑地理教育の中等學校を経たものに與ふる最も大なる實際的效果は地圖を基礎として萬般の事物を考察する習慣である。其の効果は數學が之を學ぶものに數量の觀念を與へ事物の數量を計算することに導くと同じ様で、地理の實習によつて空間の觀念を明確にし、地圖を離れて事件を考察し事業を計畫することが地面から浮いた空中樓閣の如きものであると感ぜしめるべきである。此の如く成るべく正確詳密な地形圖を視て、圖上で考究して初めて満足するといふ態度が知らず識らずの裡に養成せられたらば地理教育の目的の大半が達せられたと言つてもよい。

故に地圖を選択して教授資料として機會ある毎に學生の目を慣らすことが最も有效な方法であつて、而かも陸地測量部で發行する地形圖は價格は低廉で供給は豊富であるから、必しも多額の經費

を一時に投せずとも容易に之を備へ付けることが出来る。唯問題ば如何なるものを選択して、箇々の圖上に現はれた所を説明すべきかといふ點に歸着する。我々は本誌上に於て逐次本邦地形圖中から教材に適するものを選択して、其地文及び人文方面の著しい特色を説明して見る積である。

此の説明に入るに先つて紹介せねばならぬのは陸地測量部出版の地圖の種類と其の特長である。
陸地測量部出版の地圖を大別すれば

- 一、百萬分一東亞輿地圖、澤渲の色刷で山嶽地と平地を區別し、地勢のみを示す。
- 二、二十萬分一帝國圖、五萬分一地形圖を基礎とし等高線と澤渲を併用したので、地勢地形共に正確明瞭に示さる。

以上二種は何れも色刷の圖幅別になつて、前者は殊に支那本部印度支那シベリア方面を包括したものであるから、東亞の地理を論ずるものゝ座右に缺く可らざるものである。然れども比例尺小さく、地形の細目には頗る不正確不精密なるは材料の缺陷から已むを得ぬ所である。最近色刷五十萬分の地圖も兩三枚出版されたが未だ全國に及ばぬから如く之を措く。

三、五萬分一地形圖

四、二萬五千分一地形圖

五、二萬分一地形圖

の三種は何れも墨版一色刷が普通で、五萬分一に限り一部分等高線(樺)水(藍)の三色刷がある。此の色刷五萬分一地形圖が地形の細目を最も明確に示すものである。

六、一萬分一都市圖東京、京都、大阪、朝鮮、京城、慶州、平壤、釜山等數種に止る。

次に説明せんとするのは此等の諸圖幅の中から每號二三幅づゝ選擇して行く積である。

然れども此等の地形圖に就きて地文現象を考察するに當つて參考せねばならぬのは地質圖である。地理學者が地質構造の一般的概念を得るには通例百萬分一又は二百萬分一の日本地質全圖(農商務省地質調査所出版、震災後目下再版中)で十分で、地貌の細形を理會するには二十萬分一又は七萬五千分一の地質圖を參考せねばならぬこともある。此等の地質圖農商務省の豫算關係から印刷部數が僅か數百に過ぎずして、又た明治十三年頃から年に數葉づゝ出版されたので、震災前即ち絶版となつたものが多く、殘部あつたものも盡く烏有に歸した譯で、今や新たに之を獲る途が絶えて居る故に本誌上に述べるに當つて成るべく地質を説明して一々地質圖に當つて見んでも分る様にする積である。(小川)